

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第4区)

東京都選挙管理委員会

政策力&実行力

プロフィール
昭和42年 2月21日生まれ・鹿野・A型
平成 1年 早稲田大学文学部卒
平成 8年 大田再開発の仲間(山崎)三代目社長
平成15年 (社)東京青年会議所理事長
平成17年 経済産業省産業立地政策部委員
平成17年 9月1日 初出陣・初当選
平成21年 09月30日 2回目当選
平成24年12月16日 3回目当選
元自由民主党経済産業部会長
元経済産業大臣政務官
元内閣府大臣政務官
元自由民主党幹事長
元経済産業省副大臣
元内閣府副大臣
東京都第4選挙区支部長
大平正秀記念財団評議員

現在
●内閣府副大臣
●東京都第4選挙区支部長
●大平正秀記念財団評議員

大田区は選挙区が2つに分かれていますので、選挙公報をご覧の際はご注意ください。

東京都第4区は、大田区の次の区域です。

新蒲田	蒲田	南蒲田	東蒲田	多摩川	東横田	下丸子	仲六郷	南六郷	西六郷	東六郷	萩原中郷	羽田西	本郷東	羽田東	羽田北	西糀谷	東糀谷	城島	東島	東京島	池島	北島	西島	中島	南島	東島	平和	山王	昭島	平和	大森北	大森西	大森中	大森南	大森東			
〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜

投票日 12月14日(日) 午前7時から午後8時まで

投票方法「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 12月3日(水)〜12月13日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。)

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第2項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。)


衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第4区)

東京都選挙管理委員会

「アベノミクス2015」へバージョンアップ

2014年
●国家戦略特区
●地方創生
●さらなる改革を推進

2012年
●経済成長の加速
●社会課題の解決
●国際競争力の強化



自民党公認 47歳

たいらまさあき

総選挙でのお約束
●切れるような経済体制で、若い世代が希望する社会の実現。
●切れるような経済体制で、若い世代が希望する社会の実現。
●切れるような経済体制で、若い世代が希望する社会の実現。

いぬぶし

次世代の党公認

いぬぶし秀一

いぬぶし秀一の本音
●経済成長の加速
●社会課題の解決
●国際競争力の強化

いぬぶし秀一の歴史
昭和31年 国立市にて生まれる(高親離婚)
昭和42年 父子家庭の父病死(伯父宅に居候)
昭和47年 経営者として入社(16歳)
昭和51年 渡米 SanjossCityCollege 留学
昭和54年 大田区西條谷にて起業
平成11年 大田区議会議員選挙 以降4期 大田区議会議員選挙第3位当選 (うち3期日本公認)

生きる力を活かす社会に。

投票に行くことは、自分を守ることです。

選挙で投票に行くのは、たとえ近くの学校が投票所であっても面倒に感じます。インターネットや電子機器がこれだけ発達した世の中で、投票のあり方やコストのかけ方も見直すべきです。しかし、投票に行かないことは安倍政権を間接的に信任することと実は同じです。物価が上がり、給料や年金で生活している方は所得が実質的に減っています。景気も後退しています。国の借金も、3月からの半年間で約14兆円も増えました。そして今後さらに進む見込みです。皆さんの暮らしはこれで守られるでしょうか?投票に行くことは、自分を守ることでもあります。

少しの手間で、自分を守る。
ぜひ投票に、行きましょう。

藤田のりこプロフィール 民主党・元衆議院議員

昭和48年 新潟県上越市(旧神崎町)出身
平成4年新潟県立高田高等学校卒業
平成9年東京大学法学部卒業
ソニー株式会社 法務部に所属
ヒットワレット株式会社 取締役
「Edy」開発に携わり特許6本取得

平成19年民主党国会議員公認合格
平成21年第45回衆議院総選挙小選挙区初当選
平成24年第46回衆議院総選挙再選
【地域・所属団体】
山王三丁目自治会防犯部長、蒲田西口町会青年部副部長
東京大森イオンクラブ

安倍政権の暴走ストップ! 国民の声が生きる新しい政治へ

日本共産党がのびてこそ政治が変わります

①消費税10%は断る
②増税の目途を断る
③「野党」を断る
④再稼働ストップ原電ゼロへ
⑤新地建設「ノー」と断る

日本共産党の政策の詳細は日本共産党のホームページをご覧ください

山本純平 1974年大田区生まれ。法政二高、法政大学文学部卒。2005年6月から佳代子事務所、11年党地区大田区日本大震災救援-復興部長、12年衆議院選挙大田4区候補。現在党東京大田区4区区政対策委員長。趣味 野球(小・中学校)、ラグビー(高校・大学)、落語、ジャズ鑑賞。

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第2項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。)